【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【公開番号】特開2001-109439(P2001-109439A)
【公開日】平成13年4月20日(2001.4.20)
【出願番号】特願平11-290622
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｇ　3/36　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/133　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｇ　3/36
Ｇ０２Ｆ　1/133
Ｇ０２Ｆ　1/133　５４５
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２２Ｄ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６６０Ｑ

【手続補正書】
【提出日】平成18年10月4日(2006.10.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
スタート信号入力端子とクロック端子とを有するアドレス信号発生部と、アドレス信号にもとづいて選択パルスを発生する走査電極駆動部を有し、走査電極の選択アドレスを行うシフトレジスターと、走査電極の非選択時に非選択電圧を出力し、走査電極の選択時には選択電圧を出力し、選択電圧の極性が外部信号によって制御される出力回路であるレベルシフターバッファと、外部信号によって全出力回路から非選択電圧を強制的に出力させる手段を有する液晶パネルの走査電極駆動回路において、
第１の期間においてクロックに同期して前記シフトレジスターに出力する信号が前記シフトレジスタのアドレスのうち非表示アドレスを活性化し表示領域のアドレスを非活性化とし、第２の期間では該シフトレジスターにスタート信号を出力するデータ信号出力手段を備えることを特徴とする液晶パネルの走査電極駆動回路。
【請求項２】
前記第１の期間の前記クロック出力を出力している期間と、前記第２の期間の非表示領域をアドレスする期間とにおいて、前記出力回路は非選択電圧を出力することを特徴とする請求項１に記載の液晶パネルの走査電極駆動回路。
【請求項３】
前記データ信号出力の出力する信号が、データ信号、リセット信号、セット信号であることを特徴とする請求項１または請求項２に記載の液晶パネルの走査電極駆動回路。
【請求項４】 スタート信号とクロックによりアドレス信号を発生し、アドレス信号のタイミングで選択パルスを発生するパッシブ型の液晶パネルの駆動方法において、リセット信号ないしセット信号が入力し、非表示走査電極のアドレスをセットし、該非表示走査電極に選択パルスを印加し、休止期間に入り、該休止期間ないし休止期間直後に表示走査電極の先頭アドレスを設定し、該表示走査電極から表示走査電極を順次選択することを特徴とする液晶パネルの駆動方法。

【請求項５】 上記休止期間を第２の休止期間とし、第１の休止期間でセット信号が入力し全アドレスをセットしてからクロックとスタート信号が入力し表示走査電極のアドレスをリセットすることを特徴とする請求項４に記載の液晶パネルの駆動方法。

【請求項６】 上記休止期間を第２の休止期間とし、第１の休止期間でリセット信号が入力し全アドレスをリセットしてからクロックとスタート信号が入力し非表示走査電極のアドレスをセットすることを特徴とする請求項４に記載の液晶パネルの駆動方法。

【請求項７】 スタート信号とクロックによりアドレス信号を発生し、アドレス信号のタイミングで選択パルスを発生するパッシブ型の液晶パネルの駆動方法において、第一の休止期間でリセット信号が入力し全アドレスをリセットしてから、クロックが入力し全表示走査電極のアドレスをセットし、全アドレス信号を反転し非表示走査電極に選択パルスを印加し、第２の休止期間に入り、該休止期間ないし休止期間直後に表示走査電極の先頭アドレスを設定し、該表示走査電極から表示走査電極を順次選択することを特徴とする液晶パネルの駆動方法。